



かどや通信

第2号

発行日 平成25年6月
発行 かどや保存会
事務局 鳥羽市鳥羽4丁目3-24

五月一日から一般公開開始!

鳥羽大庄屋かどやで四月三十日、一般公開に向けてのオープニング・セシモニーが、かどやの中庭で開催された。

当日は、小雨降るあいにくの天候にもかかわらず、木田久主一市長をはじめ市会議員や市の関係者、改修に携わった方々、市内の町内会長など約七十名が参加した。

木田市長は「鳥羽に新しい観光スポットが誕生しました。観光客や市民が交流できる場となることを期待しています」と挨拶。市議会議員や県議会議員の祝辞に続き、改修に寄与した関係者に感謝状が送られた後、かつては米蔵として使われていた土蔵前でテープカットが行われ、開館を祝った。

かどやの維持・管理・運用を担当しているかどや保存会の清水久行会長は「かどや保存会を立ち上げて一年が経過しました。



保存会は地元の方々を中心に頑張ってきましたが、ようやく公開の日を迎えることができ、大変うれしく思います。江戸時代を感じることでできる建物を地元だけでなく、県内外の方々にも広く知っていただきたいのですが、そのためには建物の保存・維持管理だけでなく、様々なイベントや展示をはじめ地元の人はもちろん観光客の皆さんとも交流のできる場になるよう活用していきたいと考えています。真珠の

ようにキラリと輝く存在になるよう、皆さんと一緒に育てていきたいです」と話している。



これ何なん?

かどやのあたりは、かつて藤之郷と呼ばれていた。今は駐車場になっている川の周辺は川べりと呼ばれ、藤棚がたくさんあったという。そうそう、「藤の湯」という銭湯もあった。

さらに、廣野家の家長は代々「藤右衛門(とうえもん)」という名を継いでいた。そんなこんなで、このあたりは藤づくし。

廣野家の家紋は「五三の桐」だが、かどやのマークは下がり藤をイメージして作られた。指文字アートデザイナーの遠藤美和さんの力作で、保存会スタッフのTシャツもこのマーク入りである。

このマークを見て「これ何なん?」と思われた方、どうぞお見知りおきを!

和紙人形展に感嘆の声！



五月一日からの一般公開を記念して、鳥羽市出身で伊勢市在住の阿部夫美子さんの和紙人形展が開催された。

阿部さんは、神話に因んだ神様の人形等で人気を博しており、賓日館（伊勢市二見町）や戸田家（鳥羽一丁目）等にも作品が展示されている。

今回は、赤崎神社（鳥羽四丁目）が外宮の末社であることから外宮の「豊受大御神」（右の写真）をはじめとする神様の作品五点や、歌舞伎を題材にした新作「助六と揚巻」「勸進帳」「喜撰

（法師）」、様々な種類のお雛様など十七点が展示された。

神様の展示は五月六日で終了したが、八日からは完成したばかりの「伊勢音頭恋寝刃（いせおんどこいのねたば）」が登場した。この作品は、江戸時代に伊勢の古市で実際におこった油屋騒動を題材にしたもので、現在でも上演される人気題目の一つである。

阿部さんの作品には来館者から「和紙とは思えない」と感嘆の声が上がり、神様の人形の前では手を合わせる人もいたほど。神々の気品あふれる風格や、歌舞伎の艶やかさ、雛人形のかわいらしさ等、和紙からは想像しがたい柔らかな風合いが見事に表現されており、来館者を魅了した。



なお、おかげ横丁の「おかげ座」が「神話の館」として七月二十一日にリニューアルオープンするが、そこでは阿部さん制作の「倭姫」が迎えてくれる。六十二センチの大作である。内宮に行かれたら、ぜひお立ち寄りを。

また、来年には東京でも創作和紙人形展「歌舞伎の華展」が開催される。

会期 一月十五日～二十一日
場所 丸善丸の内ビル
四階ギャラリー

（東京駅丸の内北口 徒歩一分）
こちらにも、上京されたら、ぜひ見えてきていただきたい！



鳥羽あれやこれや ①
絶品！やきそば！

かどやの玄関を出ると左手に「富士之屋」という大きな看板を掲げた店がある。

何の店なのか？地元の人なら知らない人はいないが、のれんはかかっているものの、ショークースが出ているわけでもなく、市外からの方には、入りづらidだろう。

しかし、昼食時にかどやの近くに来たならば、思いきってのれんをくぐってほしい。

店内は、昭和の香りが色濃く漂うホルモン焼きの店で、特にやきそばは知る人ぞ知る絶品なのだ。ちょっと濃いめの秘伝の味噌だれをからめて食べれば、やみつきになること間違いなし。

ぜひ、「賞味あれ！

明治の音色に酔いしれて
長尾オルガンコンサート〜旧廣野家住宅修復記念

「長尾オルガンコンサート」が六月八日、鳥羽商工会議所・かもめホールで開催され、約百五〇人が明治の音色に酔いしれた。

このオルガンは、廣野家（通称かどや）が所有していたもので、明治時代にいち早く和製オルガンを作って世に出した松阪市在住の長尾芳蔵が製造したオルガンの一つである。鍵盤が三九鍵しかないためベビークラスと呼んでいるが、華やかでやさしい音色が特長だ。

壊れて音が出なくなっていたから長く同家の蔵に眠っていたが、平成十一年にオルガン研究家の佐藤泰平さん（仙台市在住）によって確認され、オルガン調律師の山口典次さん（長野県在住）の手で蘇った。

明治の音色が復活して以来、不定期ではあるがコンサートが開催されていたが、廣野家住宅



の修復完成を祝って、三年振りにコンサートが開催される運びとなったもの。

コンサートには、オルガン奏者の花井敏さんとテノール歌手の畑儀文さんが出演し、「涙そうそう」や「アメイジング・グレイス」など十八曲が演奏された。また、オルガン修復に尽力さ

れた山口さんが残念ながら今年亡くなられたため、山口さんを偲んで「ただ神の摂理にまかす者」も演奏された。

最後に全員で「ふるさと」を歌い、穏やかで和やかな雰囲気会場を満たした。

この模様は十八日に、NHKテレビの「ほっとイブニングみえ」でも紹介された。



五月は約六五〇人が来館

かどやが一般公開されてから二ヶ月が経とうとしている。五月には約六五〇人が来館され、特に開館直後のゴールデンウィークには約三五〇名がかどやのれんをくぐってくれた。

☆外国人観光客も

五月四日には、初の外国人も来館した。記念すべき一組目は、豪華客船コスタ・ヴィクトリア号の乗客で、中国人とインド人だった。多くの乗客は伊勢神宮に参拝したようだが、二人は特に情報もないまま鳥羽の散策を

選び、たまたまかどやの前を通りかかったのだそう。和風の庭やたみに大感激した彼らは、直後に訪れたカナダ人カップルと意気投合し、写真を取りあったり、情報交換をしたり、楽しい話しあっていた。日本の思い出づくりにかどやが一役果たしたようだ。

☆おもてなしセミナーで

団体のお客様も多数お迎えしたが、五月二十三日には鳥羽市商工会議所主催の「おもてなしセミナー」で同会議所の会員七名が見学を訪れた。

滞在時間は短かったが「鳥羽にこんな場所があったとは、知らなかった。改めてゆっくり見に来たい」と話してくれた。



茶和会等にご利用を!

貸部屋受付中

かどや保存会では、皆様にかどやを有効にご活用いただくこと、一部の部屋を貸部屋として貸し出しています。

茶和会や勉強会、展示会などにご活用ください。

ただし、オープン使用となりますので、他の入館者がそばを通ることはご了承ください。

また、建物は文化財で、かつ住宅街にありますので、建物を壊したり汚したりする可能性のあるものや、騒音、他の入館者に迷惑のかかるものに関しては、お断りする場合があります。ご利用いただける部屋は、一階の座敷と仏間です。

料金等の詳細は、料金表を参照ください。

申込先：鳥羽大庄屋かどや
電話〇五九九・二五・八六八六

時間区分 部屋	午前 10時～12時	午後 13時～16時	全日 10時～16時	冷暖房設 備利用料
座敷南(10畳)	500円	600円	1,000円	500円
座敷北(8畳)	400円	500円	900円	—
仏間(6畳)	300円	400円	700円	—

- ・営利目的の場合は、料金表の10割増しとなります。
- ・鳥羽市民または市内勤務者以外の利用は、料金表の5割増しとなります。
- ・許可された使用時間を超過する場合は、割増料金が発生します。
- ・冷暖房費は、全日使用の場合は、2倍になります。

申込方法：直接かどやにお越し
いただくか、電話またはFAX
で。

FAXの方には、申請用紙をお
送ります。

ちょっとだけ茶道体験してみませんか

茶道を習ってみたい
とは思っているものの、時間も
ないし、長続きできるか
どうか自信がない、と思
っているあなた!

かどやでちょっとだ
け茶道を体験してみま
せんか?

裏千家の千草石子先
生が、分かりやすく指導
していただきます。

日程：七月三日(水)

時間：十三時～十五時

(この時間帯で参加可能な
時間にお越しください)

参加費：五百円

申込：かどやに電話予約を



かどや保存会会員継続のお願い

平成25年度も会員として継続してご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

本年の年会費(2,000円)未納の方は、次のいずれかの方法で納入ください。

(1) 手渡し：かどやにお越しいただき、直接事務局にお支払いいただく。

(2) 銀行振込：郵便局 普通 かどや保存会 00850-4-151751
三重銀行 普通 かどや保存会 2289016